

おぐい



— おなかいっぱい食べるぞ —

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除や県内の感染者の減少を受け、中止していた今年度の学校給食が5月18日から町内各小中学校で始まりました。「待ちに待っていました」と言わんばかりに大きな口を開け、おいしそうに食べる子どもたちが印象的でした。いっぱい食べて大きくなってください。

2020

6

No.788

新型コロナウイルス感染症 終息を信じて



◀役場庁舎内に掲示し、感染症予防啓発に活用しています▶

小国中学校生徒会では、予防啓発のためのポスターを作成し、町内飲食店や役場庁舎等に配布しています。小国町ではこうした、たくさんのかたの協力のもと、感染症対策が進んでいます。今月は、新型コロナウイルス感染症対策本部が、取りまとめ実施した感染防止対策や、緊急経済対策の概要についてお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策については、4月16日に全国に向け政府の「緊急事態宣言」の発令を受け、外出の自粛や感染防止対策の徹底により、本町からの感染者は発生しませんでした。あらためて町民の皆様に感謝申し上げます。

こうした中、政府は、5月25日全ての都道府県において「緊急事態宣言」を解除しました。しかし、新型コロナウイルス

感染症対策は長丁場となることが見込まれますので、町民の皆様には、今後も、県域をまたいだ移動については、より慎重に行動していただくようお願いいたします。

対策本部では、4月30日、5月15日の臨時議会において、感染防止対策や緊急経済対策に係る所要額の補正予算を可決いただき早急な対策を講じております。全国民1人当たり10万円が給付される特別定額給付金についても、5月7日の臨時会で予算措置を行い、同8日から受付を開始、同22日、26日には町内全世帯の82・5%に当たる2485世帯へ総額6億2720万円の給付を行いました。

さらに、5月18日からは、町内小中学校で授業、給食を

開始しました。先生がたには、子どもたちの健康のため、さまざまな感染防止対策を講じていただきながら、日常を一日でも早く取り戻すべく、対応いただいています。また、各保育園・中央児童室においても、お願いしていました家庭保育による登園自粛を5月18日に解除し、通常保育を実施していただいています。町内の医療現場で働く皆様のご尽力と、宿泊施設や飲食業などの事業者の皆様にも、感染防止対策の実施や営業の自粛などのご協力、町民お一人おひとりのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

町は、引き続き感染防止対策の徹底と緊急経済対策を講じて行きます。終息を信じて、これからも頑張りましょう。

令和2年6月1日

小国町新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 小国町長 仁科 洋一

感染防止対策

町内の保育園、 小中学校の教育関連

国からの臨時休業要請を受け、3月2日、町内の小中学校休業措置を決定しました。感染拡大防止のため、分散登校等を行っていましたが、県内で新たな感染者が出ていないこと等から、5月18日からは授業を開始、給食も再開されました。また、町内の保育園、中央児童室においては、緊急事態宣言や県内の感染拡大を受けて、4月22日より登園自粛の要請をしました。5月18日に、自粛要請を解除しています。



▲登校すると、すぐミニトマトに水やりをします

町内観光交流施設及び 社会教育施設等の再開

3月31日に県内で初の感染者が発生し、拡大したことから、4月4日に町民体育館、屋内運動場あいべを、同10日には総合センターの臨時休館を決定し、同13日には町内観光交流施設等を休館しました。緊急事態宣言が全国に拡大されたことで、同23日に道の駅白い森おぐにも休業しましたが、5月8日、県により一部を除く営業自粛の解除が示されたため、5月11日から町内観光交流施設及び社会教育施設等を再開しました。社会教育施設については、町民の利用に限定しています。

町広報や防災ラジオを活用して注意喚起

新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議を2月26日に立ち上げ、翌日から防災ラジオによる注意喚起を行ってきました。さらに、国の緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症集中取組期間（4月8日～5月6日）を設定し、3密（密閉・密集・密接）対策等の周知のため、4月10日町内全戸へ注意喚起チラシを配布しました。その後も、広報おぐにや町HPを活用し、対策本部の決定事項等を町民の皆様へお届けできるよう努めています。

感染予防用品関連

■布製マスクの製作を依頼し、町内保育園児等に配布

3月24日、町内店舗のマスクの在庫不足を受け、小国縫製(株)に対し、布製マスク2,500枚を製作依頼しました。町内保育園児や高齢者施設等利用者、妊婦及び透析患者に配布しました。

■町備蓄サージカルマスクを児童生徒等に配布

3月25日に町内保育園や高齢者施設の職員、4月2日には各小中学校の児童生徒、教職員に備蓄サージカルマスクを配布しました。

■マスク、手指消毒液等の寄贈がありました

- 4月21日 山和建設(株)様からポケット付きプリーツマスク7,500枚
- 4月30日 置賜地区商工会青年部連絡協議会様から手指消毒液20ℓ 2箱
置賜管内の企業からサージカルマスク合計650枚
(4月10日に150枚寄贈いただいた分を含む)
- 5月8日 村上武様(栄町)からサージカルマスク4箱
- 5月11日 那須建設(株)様からサージカルマスク5,000枚
株サンライズジャパン様から手指消毒液20ℓ 5箱

■町内保育園等にマスクを配布

寄贈されたマスクと町で購入した布製マスクを4月30日から順次、町内保育園や小中学校、さいわい荘に配布しました。

■備蓄用品等の購入費用を第4回臨時議会で846万3千円補正予算措置

備蓄マスクの補充のための購入に加え、感染防止対策用の消耗品の購入を決定しました。

■医療従事者の感染防止対策用品等の購入費用を第6回臨時議会で327万9千円補正予算措置

町立病院で使用する医療従事者防護具や老人保健施設の非接触式体温計購入を決定しました。



おぐに保育園に布製マスクを配布

たくさんのご協力をいただいています

学校給食向け食材費 支援事業【予算額271万8千円】

学校休業に伴い、消費量が低迷している町内産の野菜やしいたけ、牛肉、地鶏などの食材11品目について、町が一定量を買上げて給食材料として提供することにしました。地産地消に取り組む小国町野菜生産組合を通じて支援することにより、学校給食費の負担軽減も図ります。



◀5月18日、野菜生産組合が食材を納入



再開した給食

学校給食支援関連

食費応援給付金事業 【予算額484万円】

学校給食から家庭での食事になったことで、食費の負担が大きくなった小中学生のいる家庭を支援することとし、5月20日に児童生徒1人あたり1万円の給付を行いました。給付額は町内全体で484人分とし、484万円となりました。

高齢等の理由により、中心部まで買い物に来ることが難しいかたが利用する小国町商店街買物くらし応援隊（小国町買物事業応援グループ）が、注目されています。栄町市場（小国食糧㈱代表取締役舟山榮二）が運営する移動販売車では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出を自粛するかたによる利用が増加しています。運転・販売をする和田二男さん（舟渡）は、「感染して重篤化するかたの多くが高齢者であることを知ったかたは、町中心部に買い物に行くのも、怖がっています。そのため、利用頻度等も以前に比べて多くなっています。」と話してください。



▲移動スーパー等による地域の生活支援事業

移動販売支援事業費補助金交付決定

【予算額150万円】

さいました。そんな中、町では、移動販売、商品配達のエリア拡充や巡回回数を増やすための費用を交付することとし、第6回臨時議会において、150万円を予算措置しました。町民の皆さんが、安心して生活できるよう支援しています。

緊急経済対策

ふるさとを遠くで見守る応援事業【予算額150万円】



▲里帰りガマン！自粛暮らし応援パックを販売

GWを前に、在宅食材需要の高まりを受け、町観光協会は地元特産品を詰め合わせにした「里帰りガマン！自粛暮らし応援パック」を300セット限定で販売しました。県境をまたぐ里帰りの移動抑制にもつながることから、町が半額を補助しました。

5月1日、アスモ特設会場に来店された佐藤求さん（古田）は、「ふるさとの味を届けたい」と遠くは岡山県の親戚のかたへ送るため、購入されていました。

町内53店舗に新型コロナウイルス感染防止対策協力金を交付【予算額650万円】

町では、感染拡大防止を図るため、町内の飲食業者や宿泊業者を対象に4月25日から5月10日までの期間、感染防止対策にご協力いただいた場合に感染防止対策協力金として10万円を交付しました。対象店舗のうち、53店舗（飲食業41店舗、宿泊業12店舗）にご協力いただき、5月1日に45店舗、5月25日には8店舗に交付し、合計額は530万円となりました。

山形県商工業振興資金の無利子融資制度

新型コロナウイルス感染症の影響により、所定の売上減少となっている事業者を対象に、実質無利子、無保証料（セーフティネット保証の認定が必要）で融資を受けられる制度です。基本利率1.6%を金融機関が0.6%引き下げ、町と県が0.5%ずつ補給することで利用者の負担がありません。町からセーフティネット保証の認定をされると、保証料についても町と県の補給があり、必要がなくなります。町内では、山形銀行、山形信用組合が申請窓口となり、県が融資認定審査を行います。町は8件の事業者に対しセーフティネット保証の認定を行いました（5月22日現在）。

事業者支援関連

小国町商工業安定化資金（異常気象対策等）緊急融資制度【予算額361万6千円】

新型コロナウイルス感染症の影響等により、所定の売上減少となっている事業者を対象に、融資に係る利子と保証料について町がその一部を補給することとしました。利子2.6%のうち、1.6%を町が、保証料についても2分の1を町が補給します。元々、令和元年度冬期間における記録的な暖冬・小雪の影響で売上が減少している事業者に対して開始した制度でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響等で売上が減少している事業者にも対象範囲を広げ、継続して実施しています。今年度は5事業者に対し融資を行いました。

岩魚計画出荷支援事業【予算額200万円】

宿泊・飲食業の休業や各種イベントの中止等で、町特産品である岩魚の需要減少等が起こったことで、安定的な養殖が厳しい状況に陥ったことを受け、現行の出荷体制の維持を目的として、支援することを決定しました。

経営持続化 緊急支援交付金

【予算額1,090万円】

営業自粛要請を受け、町が営業中止命令を行った指定管理施設の受託者5事業者に対し、引き続きの感染対策の徹底と安定的な経営を持続するため支援金を交付します。

わらび野保全活動事業

【予算額409万6千円】

営業自粛要請を受け、今年度の営業を休止した観光ワラビ園18施設を対象に、今後の営業継続に向けた保全活動の経費1ha当たり10,750円を支援することとしました。

■問合先

産業振興課森林振興担当
(☎62-2408) へ



▲小玉川観光ワラビ園(上空より)

特別定額給付金の 受付・給付が始まっています

【予算額7億4,570万円】

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、4月20日閣議決定され、町では、5月7日に3,012世帯へ申請書を郵送し、5月8日から受付を開始しました。受付件数は2,765件(5月25日受付分まで)となり、5月22日、26日に2,485世帯へ総額6億2,720万円の給付を行いました。申請期限は、8月11日までとなり、原則郵送での申請となります。お送りした申請書をよくご確認ください。

■対象者

全町民

■問合先

特別定額
給付金対策室
(☎87-0927) へ



▲特別定額給付金の受付作業

子育て世帯への臨時 特別給付金を給付します

【予算額852万5千円】

児童手当受給者を対象に、扶養する子1人当たり1万円を支給します。一般受給者に該当されるかたには、すでに「給付に関するお知らせ」をお送りしています。届いていないかたは、健康福祉課までご連絡ください。なお、公務員のかたは、各所属庁より配布される申請書を健康管理センター健康福祉課福祉担当窓口までご提出ください。

■対象者

0歳から新高校1年生を扶養する児童手当受給者(所得制限を超えるかたを除く)

■問合先

健康福祉課福祉担当
(☎61-1000) へ

小国町が、感染症対策費として追加した補正予算額

感染防止対策費 1,174万2千円
 緊急経済対策費 4,107万9千円
 特別定額給付金【給付・事務費】
 7億4,570万円

新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方へ

新型コロナウイルス感染症の影響により収入に相当の減少があった方は、1年間、地方税の徴収の猶予を受けることができます。(納入を免除されるものではありません)

■対象となる方(以下の①及び②を満たす納税者・特別徴収義務者が対象となります。)

① 新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月以降の任意の期間(1カ月以上)において、事業等に係る収入が前年同期に比べて概ね20%以上減少していること。

② 一時に納付、又は納入を行うことが困難であること。

■対象となる税目 令和2年2月1日から令和3年1月31日までに納期限が到来する個人住民税、地方法人税(法人町民税、法人県民税)、固定資産税など、ほぼすべての税目が対象となります。納期限が過ぎているものも利用することができます。

■申請手続等について

・令和2年6月30日、又は納期限のいずれか遅い日までに申請が必要となります。

・申請書のほか、必要書類がございますので、事前にご相談ください。

■問合せ 町民税務課 収納担当(☎62-2403)へ

今後の対策として

町は、2月28日に新型コロナウイルス感染症連絡調整会議を対策本部に格上げをして以降、各種の感染防止対策や緊急経済対策に取り組んできました。引き続き、町内の経済環境等に応じた対策を講じていくこととしています。

【感染防止対策として】

・健康管理センターの換気設備の整備
人が集まる健診等を安全に実施できる環境を整備します。

・町立病院等で使用する感染防止対策用品準備

・災害等の発生に備え避難所環境整備や災害用備蓄品の購入

【緊急経済対策として】

・「コロナに負けるな!がんばるお店応援クーポン券」配布事業

営業休止が解除されたとは

いえ、厳しい経営環境が強いられる現状を打破すべく、町内の店舗等で利用できる応援クーポン(町民1人当たり3000円の割引券)を配布し、町民への支援と景況改善を図っていきます。

・指定管理施設を対象にした、本町の特産品を活用した目玉商品づくり

新型コロナウイルス感染症の終息後、一日も早い観光入込込み客の増加を目指すため、新商品開発を支援する準備を進めています。

5月25日に全ての都道府県において、緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ、予断の許さない状況が続きます。これからも、町民のかたがたが安心して生活できるようにさまざまな対策を実施してまいります。



子供弁当を100円（税込）で提供 がんばっている子どもたちと保護者を応援したい

4月30日に旬彩うを徳（安達徳一さん（岩井沢））が大学生以下の子ども限定で手作り弁当を税込100円（100個限定）で販売しました。安達さんは、「外出自粛等で我慢している子どもたちと、毎日の食事づくりに奮闘している保護者を応援したいと思い、企画しました。」と話してくださいました。注文したかたたちは、とびっきりの笑顔で受け取って帰っていきました。



営業自粛要請解除を受けて 道の駅「白い森おぐに」営業再開へ

道の駅「白い森おぐに」は5月8日県からの営業自粛要請解除を受けて、同11日、感染症対策を行った上で旬彩レストランあいあいを除く施設の営業を再開しました。初めての週末となった同17日(日)あいにくの雨模様でしたが、町内外のお客様が来店され、少しずつ日常を取り戻していく様子がみられました。道の駅の竹内駅長は、「再開して来客数が伸びるか心配だったが、予想以上に来ていただけて良かった」と話してくださいました。



▲営業再開後の最初の日曜日（5月17日）、ワラビの出荷もあり、にぎわいを見せる売店の様子

道の駅を盛り立てます キッチンコンテナオープン

道の駅「白い森おぐに」売店白い森のくまさん国道側入口隣に4月19日、おぐに地鶏フーズ（佐藤和美社長）が、キッチンコンテナをオープンしました。地鶏から揚げやたこ焼き風鶏焼きなど、本町の魅力ある地鶏の販売で道の駅を一層盛り立てます。一度ご賞味ください。

交通安全の日 街頭指導

5月11日に町内各所において、交通安全の日街頭指導が行われました。休業措置や分散登校が続く中、学校通常授業再開の目途が立って初めての登校日のこの日、心なしか子どもたちの表情も明るくなったように見えました。小国町では、毎月1日を交通安全の日と定め、町民の交通安全意識の向上を図っています。



▲国道113号線 小嶋石油店前の街頭指導の様子



年齢：19歳
出身地：千葉県八千代市
活動地域：東南部地区

「緑のふるさと協力隊に 着任しました」

緑のふるさと協力隊 なかはら りょう
中原 凌

協力隊通信

series 50

初めまして！第27期緑のふるさと協力隊の中原凌です。私は千葉県八千代市から参りました。2週間ほど外出を自粛しており、5月7日から協力隊の活動が始まりました！現在は綱木箱口に住んでいます。4月に小国町に着いた時は千葉県よりも肌寒く感じました。周りを見渡すと自然に囲まれていて、自分の住んでいた地域では見る事の無い景色が広がっていました。驚いたのは「本当だったらこの時期はまだ雪が残ってる」と住民のかたが言っていたことです。

私は今まで農作業もやったことありませんし、雪国での生活も、1人暮らしも初めてです。不安な事もありますが、今は小国町での生活や色々な事が体験できると思いき楽しみにしています！この1年間は小国町の農林業、伝統文化などを学んで行きたいです！まだ小国町に入ったばかりですが、皆さんと仲良くなりたいので色々な活動、イベントに誘ってください。街で見かけた際は是非、気軽にお声掛け下さい！

皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、これからよろしくお願致します。



▲「ゲストハウスの手洗い場を製作中」

地域の学び舎、冬季分校

② 桜・沢中

本町東部の白沼地区を流れる桜川は、間瀬川や森残（もりのこし）川などの支流をもち、飯豊・朝日の支脈から広く水を集めています。それはやがて、明沢川と合わさり、狭く険しい桜川溪谷を抜け、横川へと流れこみます。今ではその多くが森へと還りつつありますが、かつては、それら谷筋、谷筋に数々の集落が点在していました。

この白沼地区において、長らく児童たちの学びの中心であったのが白沼小学校（平成23年3月閉校）でした。その起こりは、明治6（1873）年、白子沢集落の清安寺に開設された白子沢学校までさかのぼります。ただし、その後、沼沢集落から通う子どもたちも多くなつたため月の半分は清安寺に、残り半分は沼沢の多福寺に児童を集め、

授業をおこなうようになりました（※1）。さらに、大正8（1919）年には二つの教場が合わさり、現在、旧白沼小学校校舎のある場所へと学校が移設・新築されたのです。

しかし、同校区内には、間瀬川最上流部の屋敷・綱川集落（昭和48年集団移転）をはじめ、本校から遠く離れ、冬期間はとくに通学の困難な集落が幾つもありました。そのため、大正12（1923）年、綱川に常設分校が、そして明沢、間瀬、桜沢中、高松という4ヶ所に冬季分校が開設されたのです（※2）。今回紹介する桜沢中冬季分校はその一つで、桜と沢中（さわなか）という、桜川上流にひらかれた二つの集落の間（沢中集落外れ）に開設されていました。桜は、越後米沢街道十三峠の

一つ、桜峠から白子沢側へ数百m下つたところにあつた集落です。1・5kmほど下流側（白子沢側）にあつた沢中集落と共に街道沿いに位置し、古来、沼沢・白子沢と市野々とを行き交う人の往来で賑わっていました。しかし戦後、国道や鉄道（国鉄）が主要路として整備されていくなか、それらから離れた場所にある両集落では人々が離村していったのです。

両集落のうち、より白子沢に近い沢中集落でも本校までは距離にして約3km。しかし、途中には雪崩の多発箇所があるなど、とくに小学生が冬場通うには危険な道でした。そのため、小学4年生までの児童は毎年12月から翌年4月末までの4ヶ月間、冬季分校に通学したのです。小国小坂町の今正敏さん（昭和7年生まれ）は、この桜沢中冬季分校で教員をしたことのある一人です。高校を卒業後、二冬をそこで過ごしたという今さん。「家の隣にいた人が当時、白沼小学校で教頭してて、その

人に頼まれて先生したんだ。桜沢中（冬季分校）に二冬。そのあと、高松（冬季分校）で二冬。小国から汽車で通うわけにはいかねえから泊まりがけだぞな。学校に風呂がなかったから夜、近くの家に行つて、入れさせてもらった。ついでに夕飯とか朝飯をご馳走になつたこともあつたな。

子どもは12、3人ぐらいたんでねえか。やっぱり授業は教科書使つたごて。けども、子どもたちに勉強する癖つけるために私なりに考えて、毎日少しずつだけ宿題だしてたんだ。それちゃんとみんなやつてるんだな。夜、風呂入りになんかで



授業風景（昭和40年）
（写真提供＝渡部眞治氏、次頁も）



▲桜沢中冬季分校（昭和40年）

1階玄関口には茅でトンネル状の雪囲いが作られていた。

生徒の家さ行って、見てみると。やっぱり本校さ行くと帰りは遅くなるし、疲れるべ。その点、冬季分校の方が子どものためになるなって思った感じするな。」と教えてくれました。

当時、男性の働き手は炭焼きや出稼ぎで冬期間集落にいないことが多く、冬季分校を支える大きな力となっていたのが地域のお母さんたちでした。

「お母さんがたが雪積もると

（学校の）除雪に来てくれるわけよ。人足（にんそく）で一人ずつ1軒から。雪がこれ以上積もると危ない、潰れるっていうときに。」そう話すのは、沢中出身の渡部眞治さん（昭和31年生まれ、東原在住）です。他にも、毎年12月1日におこなわれた冬季分校の開校式や、クリスマス会などでもお母さんたちが集まり、ご馳走を作ってくれたと渡部さんは言います。

「やっぱり親にしてみればよ、子どもたちにやってあげたいことっていっぱいあるわけだべした、本当は。でも、当時はそんな余裕もないし。そうしたときに何ができるかっていったら、みんな協力して雪下ろしするとかよ、吹雪の日は先になつて雪漕いで、子どもたちを学校に送り届けるとか。あるいは開校式にみんな集まってご馳走作って食べさせてくれたり。もちろん華

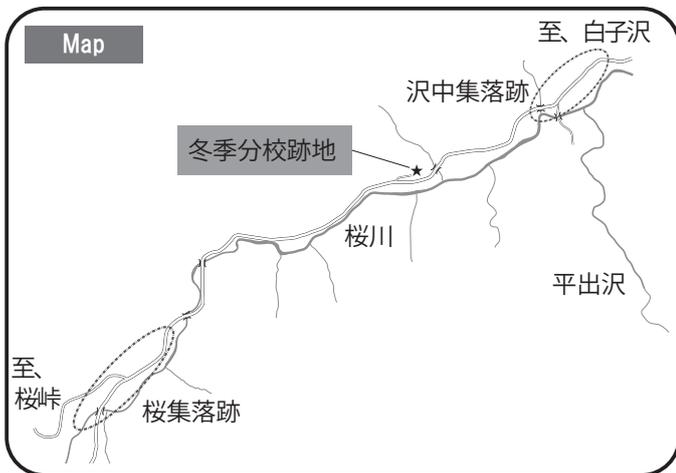


▲雪下ろし風景（昭和40年）
人が立っているのが1階の屋根

やかな料理ではないけども、お母さんたちが精魂込めて作ってくれた料理だ。そうやって自分たちでできることを精一杯してくれてたんだな。」と渡部さん。

昭和45（1970）年、本校近くに「しろがね寮」という寄宿舎ができ、遠方の児童たちはそこで冬期間過ごすようになりました。それに伴い、間瀬、明沢と共に、桜沢中冬季分校はその幕を閉じました。

それから今年でちょうど50年。桜川の河畔から少し上った所にある学校跡地は、木々にすっきり覆われてしまいました。



しかし、そこには、教員や親たちの深い愛情で満たされていた、当時の「学び舎」の記憶が静かに眠っているのです。

※1 明治33（1900）年には沼沢分校が常設の分校となった。

※2 大正期に森残川上流の大館山一帯で伐採事業が興り、その麓に町場が形成された。それに伴い大正7（1918）年、常設分校（長畑分教場）が設置されたが、2年後には閉校となった。

令和2年 第4回・第5回・第6回 小国町議会臨時会

令和2年第4回臨時会が、4月30日に、第5回臨時会が5月7日に、第6回臨時会が5月15日に開催されました。令和2年度一般会計補正予算など8議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

【第4回臨時会】 一般会計に

3205万7千円を追加
新型コロナウイルス感染症対策経費や地域総合商社への出資金など、合わせて3205万7千円を追加し、補正後の予算総額は、60億6305万7千円となりました。

■総務費では、町議会議員が辞職したことに伴い、議員補欠選挙を7月21日に執行予定の町長選挙と同日で執行することとし、所要額を措置しました。さらに、地域総合商社の経営戦略を

確立したため、地域総合商社に町として出資することとなりました。なお、当該予算につきましては、白い森みらい創生事業の地域総合商社設立業務交付金を組み替え、地方創生推進交付金を充当します。

■衛生費では、新型コロナウイルス感染症防止対策として、町の備蓄用サージカルマスクを補充する経費と、65歳以上のかたに配布するため、購入と配布に係る経費について所要額を措置しました。この他、感染防止用品の購入費を措置しました。

■商工費では、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組む町内の飲食業者、及び宿泊業者に対して協力を交付することとし、所要額を措置しました。

■教育費では、町内小中学校の休業が続ぎ、学校給食

から家庭での食事が変わったことにより、食費の家計負担増加を考慮し、小中学生のいる世帯に対し、1人あたり1万円の給付金を交付することとしました。また、内閣府の地方創生事業である「高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業」に、県立小国高等学校が採択されたことを受け、事業を推進するための経費を措置しました。

小国町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

4月2日に、職員が「児童買春・児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」違反により、逮捕・略式命令を受けたため、町政運営の最高責任者である町長並びに副町長の5月分の給与について、それぞれ100

分の10を減額するため、所要の改正を行いました。

小国税条例を改正しました

■個人住民税において、婚姻歴等の有無に関わらず、前年の所得が500万円以下で生計を一とする子（前年の所得48万円以下）を有する単身者について、寡婦控除と同一の「ひとり親控除」を適用することとし、非課税措置にもひとり親を対象に加えるため、所要の改正を行いました。

■適切な時期に相続登記が行われない等により、固定資産税課税事務上、納税義務者となる所有者の特定に支障が生じていることから、相続人等の納税義務者の申告を義務化し、さらに調査により所有者等が不明の場合に、使用者を所有者とみなして課税するため、所要の改正を行いました。

■たばこ税について、これまでの重量による課税から、葉巻たばこ1本を紙巻たばこ1本に換算する方法へ変更しました。激変緩和を図るため経過措置を講じ、本年の10月1

日と令和3年の10月1日に、段階的に見直すよう改正を行いました。

■地方団体から、納税者への還付金に付される利息である、還付加算金等の見直しとして、市中金利の実勢を踏まえ、還付加算金の割合となる特例基準割合の引き下げを行うとともに、その名称を還付加算金特例基準割合へ改正しました。

小国町国民健康保健税条例を改正しました

■基礎課税額の課税限度額を61万円から63万円に引き上げました。

■軽減の対象となる所得算定において、控除する被保険者の数に乘すべき金額を5割軽減の対象では、現行の28万円から28万5千円に、2割軽減の対象では51万円から52万円に引き上げ、軽減対象者の拡大を図りました。

【第5回臨時会】

一般会計に

7億4570万円を追加
国の2020年度補正予算

が4月30日に決定されたことを受け、「特別定額給付金事業」の給付費と事務に要する経費として、7億4570万円を追加し、補正後の予算総額は、68億875万7千円となりました。

【第6回臨時会】

一般会計に

3301万8千円を追加
「子育て世帯への臨時特別給付金」の実施に要する経費や町の独自に行う感染防止対策及び経済対策に要する経費として3301万8千円を追加し、補正後の予算総額は、68億4177万5千円となりました。

■民生費では、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、0歳児から新高校1年生を扶養する児童手当受給者に対し扶養する子、1人あたり1万円の給付をすることとし、所要額を措置しました。

■農林水産業費では、学校休業に伴い、給食が実施されないことにより、町内産

の食材11品目の消費量が低迷していることから、小国町野菜生産組合を通じて町が定量を買い上げ給食材料として提供することとし、所要額を措置しました。学校給食費の負担軽減を図ります。加えて、宿泊・飲食施設の休業やイベントの中止等が相次いだことにより、本町特産品の岩魚の需要が減少して在庫滞留に陥り、継続的な養殖管理が厳しい状態になっているため、計画的な供給体制の構築と確立に必要な経費の一部について支援を行うこととし、所要額を措置しました。

■林業費では、自粛要請を受け、休園している観光ワラビ園等に対して、来年度の開園のためのわらび野の維持保全作業を行う費用を支援することとし、所要額を措置しました。

■商工費では、日常の買い物に困窮している高齢者等が増加している現状を受け、移動販売を実施している事業者において、買い物客の利便性向

上と販売促進に取り組む事業を支援することとし、所要額を措置しました。また、町が公共の観光交流施設の営業中止命令を行ったことによる、収入減少に伴い、状況が厳しい指定管理施設の受託者5事業者に対して、引き続き感染防止対策の実施と安定的な経営を持続するための支援をすることとし、所要額を措置しました。

病院事業会計に

245万1千円を追加

感染防止対策として、発熱外来対応及び院内の衛生環境を整備するため、診療材料等の購入費を245万1千円を追加し、補正後の予算総額は、12億6203万4千円となりました。

老人保健施設事業会計に

82万8千円を追加

感染防止対策等に用いる衛生用品の購入費82万8千円を追加し、補正後の予算総額は、4億205万2千円となりました。

小国町長選挙及び小国町議会議員補欠選挙が 7月21日(火)に行われます

任期満了に伴う小国町長選挙及び議員辞職に伴う小国町議会議員補欠選挙を次のとおり同日に行います。

■告示日 7月16日(木) ■投票日 7月21日(火)

小国町長選挙及び小国町議会議員補欠選挙 立候補予定者・出納責任者説明会

小国町長選挙及び小国町議会議員補欠選挙の立候補予定者・出納責任者説明会を次のとおり開催します。立候補を予定されているかたや出納責任者となるかた、またはその代理のかたは必ず出席してください。

■日時 6月19日(金) 午後1時30分～ 小国町長選挙について
午後3時～ 小国町議会議員補欠選挙について

■場所 役場4階大会議室

■その他 出席者はマスクの着用をお願いします。なお、詳細は選挙管理委員会へお問い合わせください。

■問合せ先 選挙管理委員会（総務課内 ☎62-2112）へ

特別弔慰金請求のご案内

第11回特別弔慰金の支給対象となるかたは請求の手続きをお願いします。

前回請求されたかたとご家族には、個別にご案内します。

■支給対象

令和2年4月1日において、戦没者等の死亡に関し年金給付の受給権者（公的扶助料や遺族年金の受給権を有する遺族）がいないかた

■支給内容 額面25万円（5年償還の記名国債）

■請求期間 令和5年3月31日まで（期限厳守）

■請求窓口 健康管理センター 健康福祉課福祉担当

■その他 請求の際は、事前にご連絡ください。

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

電気柵購入に係る費用を助成します

■補助率 2分の1以内（上限20万円）

■申請期限 7月31日(金)

■採択要件 鳥獣による農作物被害を軽減する「県事業を活用したモデル事業」です。町に電気柵の効果や検証データを提供できるかたを優先します。予算の範囲内での採択となりますのでご理解ください。

■その他 詳しくは、町ホームページをご覧ください。

■問合せ先 産業振興課森林振興担当（☎62-2408）へ

重度心身障がい（児）者医療証・ ひとり親家庭等医療証の更新について

重度心身障がい（児）者医療証またはひとり親家庭等医療証をお持ちのかたは、有効期限が令和2年6月末となっています。該当するかたには6月中旬頃に更新通知を送付いたしますので、通知内容に従って更新手続きを行ってください。重度心身障がい（児）者医療給付制度・ひとり親家庭等医療給付制度は、下記のかたに対し、保険診療による医療費自己負担額の全額または一部を助成する制度です。

■対象者

▶重度心身障がい（児）者医療給付制度

住民税所得割の額が23万5千円未満のかたで、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aをお持ちのかたまたは国民年金および公的年金各法の障害等級1級の障害基礎年金を受給しているかたなど。

▶ひとり親家庭等医療給付制度

所得税非課税世帯で、母子家庭・父子家庭等世帯の親と18歳以下の児童、両親のいない18歳以下の児童など。

※新規の申請受付は随時行っています。具体的な要件等についてはお問い合わせください。

■問合せ先 町民税務課国保医療担当（☎62-2261）へ



白い森おぐにビジネス創出塾で
ブラッシュアップしたビジネスプランが
ふるさと納税の新たな返礼品として登場！



今年1月に開催した白い森おぐにビジネス創出塾のビジネスプランコンテスト。その際に応募いただいたビジネスプランについては、事業化に向けて継続したフォローアップを行っており、特に起業創業部門のプランについては、ふるさと納税返礼品の目玉となるような商品を目指し、事業者とサポーター、町と地域総合商社が連携して、商品化に向けた協議を重ねてきました。

この度、その中のいくつかの商品を、町が新たに参画す

る東急グループのふるさと納税ポータルサイト「ふるさとパレット」の目玉返礼品として掲載することとなりました。

コンテストで最優秀賞に輝いた塩川秀夫さん（野沢酒造店）のプランからは、野沢酒造店の限定ボトルセットと酒蔵見学を商品化し、酒造りの様子が丁寧に紹介された桜のイメージのパンフレットが完成しました。

佐藤和美さん（おぐに地鶏フーズ）のプランからは、やまがた地鶏の食べ方や味わいを季節ごとに提案するセットが誕生し、大自然の中で育てていることをアピールするパンフレットに加え、Webサイトもオープンしました。

渡部哲也さん（渡部肉店）のプランからは、生産者と消費者をつなぐ新しい基準による米沢牛のセットと、それを紹介するインパクトのあるパンフレット、レシビが完成しました。

東急ふるさとパレットについては、山形県内の市町村では初の掲載となり、小国町のサイトは6月1日からのオープンとなります。

アイディア部門の高校生のプランについても、素敵な夢の実現に向けて引き続きサポートしていきます。

募集

県営住宅入居者募集

- 募集住宅 3DK 6戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 6月8日(月)～6月12日(金)
- 入居時期 8月上旬
- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市) 総合案内窓口
- 問合せ 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238・24・2332)へ

町営住宅入居者募集

- ①町営住宅小坂町団地 3DK 2戸(1・4階)
- 対象 ①▽世帯状況に応じた所得制限あり
- ②町営住宅あけぼの高齢者団地 1LDK 1戸(1階)
- 対象 ①▽世帯状況に応じた所得制限あり
- ②▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または

- 60歳以上の親族であること
- ①～②共通
- ◎家賃 所得により決定
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期間 6月8日(月)
- ◎入居時期 6月下旬以降
- ◎問合せ 地域整備課建設管理担当(☎62・2431)へ

小国町会計年度任用職員募集

- 職種 一般事務職
- 職務内容 小国町長選挙等の投票票準備ほか
- 募集人数 2人
- 期間 6月23日(火)～7月29日(水)
- 提出書類 申込書
- 受付期間 6月1日(月)～6月12日(金)
- 申込・問合せ 総務課行政管理担当(☎62・2112)へ

やまなみ学園保育士募集

- 入所児童の療育支援を行う保育士を募集しています。
- 勤務先 県立やまなみ学園(長井市)
- 資格 保育士資格
- 勤務形態 三交替勤務(夜勤あり)

お知らせ

山形県調理師試験のお知らせ

- 期間 令和3年3月31日まで
- 問合せ 県立やまなみ学園(☎0238・88・9311)へ
- 日時 10月10日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 山形県庁(山形市)
- 願書配布・受付場所 各保健所生活衛生課(室) ※山形市保健所を除く
- 受付期間 6月12日(金)～6月26日(金)
- 問合せ 県食品安全衛生課食品衛生企画担当(☎023・630・2621)へ

山形県介護支援専門員実務研修試験のご案内

- 日時 10月11日(日)10時～
- 場所 山形市内(後日通知)
- 対象 保健医療福祉分野で5年以上かつ900日以上の実務経験があるかた
- 費用 10600円
- 申込方法 ①受験の手引きを郵送請求

- ②簡易書留で受講申込み
- 受付期間 6月8日(月)～30日(火)
- 申込・問合せ 県社会福祉協議会人材研修部人材係(☎023・622・2776)へ

離岸流に注意!

目指せ海の事故ゼロへ!

海水浴をする時は、定められた海水浴場や期間を守り遊泳しましょう。場所により沖合に流される離岸流があるので、注意して下さい。緊急通報は(☎118)へ

- 問合せ 酒田海上保安部交通課(☎0234・24・0055)へ

令和2年度労働保険の年度更新お知らせ

労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新期間は、6月1日(月)～8月31日(月)です。最寄りの労働局・労働基準監督署・金融機関で申告及び納付をお願いします。年度更新申告書の書き方及び申告・納付方法等の詳細については、申告書に同封しているパンフレット及び厚生労働省HPをご参照ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、掲載されている日程等が変更になる可能性があります。

開催状況については、各問合せ先に確認してください。

6月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■ 2歳児歯科健診

- ・期 日 6月17日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成29年9月、10月、11月、12月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■ 6月のなかよし広場お休みのお知らせ

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

※子育て講座は中止とさせていただきます。

■対象者

なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。

平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ先

子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

休日当番担当歯科医のお知らせ

6月7日(日)	米沢 みわき歯科クリニック	0238-24-2418	6月21日(日)	米沢 春日歯科医院	0238-22-3030
6月14日(日)	長井 赤間歯科医院	0238-88-2218	6月28日(日)	高島 ますぶちデンタルクリニック	0238-52-0014

求 人 情 報

右の表は5月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター	1人	
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
	現場監督員	2人	
	型枠大工	1人	
(株)旭林業	林業技術士・大型運転手	3人	7:30~17:15他
セキュリティプレシヤス(株)	交通誘導警備員【小国エリア】	5人	8:00~17:00
(株)コメリ	店舗運営職・幹部候補	1人	8:45~18:00他
協同薬品工業(株)	家庭薬配置員【山形営業所】	1人	9:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
日清医療食品(株)仙台支店	栄養士	1人	9:00~18:00
	調理師	1人	5:30~14:30他
	調理員(洗浄)	1人	6:00~11:30他
置賜森林管理署	(臨) 山林パトロール	7人	8:30~17:15

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2020.6

6月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 6月26日(金) 水道料

● 6月30日(火)

町県民税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

6月の あいイベント カーリンコン教室



子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツです。

- 日時 6月20日(土)10:00～12:00
- 対象者 どなたでも
- 内容 ニュースポーツのカーリンコン体験
- 参加費 1人100円（保険料込）
- 申込締切 6月19日(金)

■申込・問合せ
(☎62-5808)



～訂正とおわび～

先月号12ページでご紹介した町内小中学校の入学式の記事で小国中学校の新入生代表のお名前の漢字を誤っておりました。

(誤) 新入生代表の酒井直くん

(正) 新入生代表の酒井七穂^{なお}くん

訂正し、おわびいたします。

おぐに夏まつり

町民花火大会

岩魚のつかみ取り大会

白い森ニュースポーツ大会

中止のお知らせ

教科書展示会のお知らせ

今年度は、令和3年度使用中学校用教科用図書の採択が行われる年のため、中学校教科用図書の展示会を開催します。教科書の展示会は、教科書の発行に関する臨時措置法第5条の規定に基づき、文部科学大臣の指示する時期に、教科書の適正な選択に資する等のために開催されるものです。

学校関係者だけでなく、広く一般町民のかたがたを対象としています。保護者の皆様はじめ地域の皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時 6月12日(金)～6月25日(木)
※月曜日は休館日となります。
9時30分～18時まで

■場所 おぐに開発総合センター3階図書室

■その他

展示会場に閲覧者記入名簿とアンケート用紙を用意しますので、ご協力をお願いします。

■問合せ 教育振興課 (☎62-2141) へ

新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年度の開催は中止といたします。

ご理解のほどよろしく申し上げます。

■問合せ先

おぐに夏まつり

小国町観光協会 (☎62-2416) へ

白い森ニュースポーツ大会

教育振興課 (☎62-2141) へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- ◇流人道中記 浅田次郎
- ◇イマジン? 有川ひろ
- ◇店長がバカすぎて 早見和真
- ◇線は、僕を描く 砥上裕将
- ◇メディウム 相沢沙呼

入札結果情報 (令和2年4月21日～令和2年5月20日実施)

単位 (円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.5.8	令和2年度町道区画線補修工事	町道指定路線	R2.8.31	2,670,000	(有)アソート産業	2,600,000
R2.5.18	令和元年度繰越社会資本整備総合交付金事業 町道松岡黒沢峠線改良舗装工事	黒沢	R2.10.16	38,704,000	山和建設(株)	37,600,000
R2.5.18	令和2年度除雪機械購入	小国小坂町	R2.11.16	32,713,690	コマツ山形(株)米沢支店	15,530,000

*入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●総務課 (行政管理担当/管財・危機管理担当/財政担当) ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

相 談

▽弁護士無料法律相談

- 日 時 6月12日(金)
10:00~15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ



戸籍のまど

(4 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

小 玉 川 舟 山 ^{たつき} 樹 生 (和 樹 里 絵)

おくやみ申し上げます。

金 目 齋 藤 達 美 (90)
 岩 井 沢 渡 邊 定 夫 (86)
 兵 庫 館 木 村 仁 (48)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和2年4月30日現在)

人口	男	3,641人 (+ 8)
	女	3,673人 (+ 3)
	計	7,314人 (+ 11)
世帯数		3,013世帯 (+ 26)

編集後記

町内の田植えも進み、新緑のきれいな季節になりました。例年ですと、熊まつりや石楠花まつり、観光ワラビ園の開園など、春の行事の真っ盛りで、広報担当は忙しく飛び回る時期ですが、コロナの影響で、イベントの中止が相次ぎ、いまだにご挨拶ができずにいるかたが大勢います。緊急事態宣言も解除されたので、これからは、町内を回り、明るい話題を探して歩きますので、見つけたら声をかけてください。(仁科)

仕事 vol.24 図鑑

株式会社小国自動車整備工場

代表者 代表取締役 阿部秀勝
 従業員数 5人
 所在地 小国町大字岩井沢525-15
 事業概要 自動車整備業、自動車販売、保険販売、ロードサービス等

(株)小国自動車整備工場に勤める塚原力哉さん(泉岡)は、入社して7年目になります。塚原さんは「幼い頃から車が好きだったため、車について詳しくなりたいと思い就職しました。車の修理では、目に見えない電気系統などのトラブルの解消が難しいです。ただ、そういった目に見えない箇所の故障などで、他店では修理できずに持ち込まれる車両の修理を終えて、お客さんに喜んでもらえたときはすごく嬉しくなります。」と話してくださいました。自動車整備士3級を取得しており、現在2級を取得するため、頑張っているそうです。阿部代表取締役は、「仕事に取り組む姿勢が真面目です。早く新人を採用して、先輩として働けるようにしてあげたいと考えています。」と印象について話してくださいました。

(株)小国自動車整備工場は、JAFの指定工場になっており、事故処理等のロードサービスの対応を得意としています。また、全国1,650社を超えるロータスクラブに加入し、置賜の加入事業者間で行われる社員交流会に積極的に参加し、情報交換等を行っています。同社が現在力を入れているのは、ロータスクラブで行うキャンペーンの一つの個人向けリース販売です。メンテナンス費用等が使用料に含まれており、全国的に利用者が増えています。日々変わる自動車業界ですが、新しいことにも力を入れ、社員一丸となって取り組んでいます。



▲自動車の整備を行う塚原力哉さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.13



⑬ 「赤芝峡」

風が心地よい季節を迎えました。普段見ることのない赤芝橋の下側に視線を運ぶとそこでは荒川の荒々しい流れを感じ、春のきれいな新緑を望むことができました。新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言が解かれ日常が少しずつですが戻ってきているように感じます。外出自粛が続き、運動不足のかたも多いと思います。紅葉の景色がビュースポットとして紹介されることが多い赤芝峡ですが、近くには遊歩道もありますので、さわやかなこの季節に足を運んでみてはいかがでしょうか。